

1. 担当者向け視察・意見交換会

- 1) 日 時 令和7年5月15日(木)～16日(金)
- 2) 場 所 宮古港
- 3) 参加者 構成団体、オブザーバー 35名
- 4) 内 容

現地視察(15日 12:00～13:20)

場 所：盛岡市内(盛岡八幡宮・あさ開酒造)

内 容：主な観光施設等の概要説明及び視察

説明者：岩手県

意見交換(15日 15:00～16:30)

場 所：宮古港フェリーターミナル 3F 会議室

司 会：東北地方整備局

議 題：各県におけるクルーズ振興に関する取組や寄港観光事例紹介
東経連におけるクルーズ誘致への取組

宮古港概要説明(15日 16:30～16:45)

場 所：宮古港フェリーターミナル 3F 会議室

内 容：宮古港概要

説明者：釜石港湾事務所

受入状況視察(16日 7:00～10:10)

場 所：藤原ふ頭、浄土ヶ浜、宮古駅前商店街

内 容：クルーズ客受入状況等の視察及び乗船客対応状況視察

説明者：岩手県



現地視察・意見交換会の様子

2. 東北クルーズカンファレンス

- 1) 日 時 令和8年1月14日(水) 13:30~15:10
- 2) 会議方式 WEB会議方式
- 3) 参加者 構成団体、オブザーバー、その他自治体 61名
- 4) 内 容

東北のクルーズ振興を目的として、クルーズ業界を取り巻く諸情勢等に関する講演及び意見交換を行った。

講演では、Rヨット株式会社運航部長松井氏から2027年Rヨット様で就航されるクルーズ船による新たなクルーズツアーと今後の展望についてご講演いただき、株式会社JTB ロイヤルロード事業部クルーズ部営業戦略担当課長クルーズマスター中島氏と株式会社JTB 仙台支店副支店長猪腰氏からクルーズマーケットの現状、クルーズ船の寄港地選択時の考え方、東北クルーズ船寄港地ビジネスにおけるJTB様の体制についてご講演をいただいた。

講演後は、個別商談会を行い、クルーズ船誘致に関する意見交換が行われた。

演題：『小型ヨットスタイルの客船でめぐる新時代のクルーズ提案』
～VOYAGE TO IHATOV～

講師：Rヨット株式会社 運航部長 松井 克哉 氏

要旨： 弊社2027年就航のクルーズ船は、特徴的な船尾のマリーナ設備と小型舟艇を装備したヨットスタイルで、砂浜や景勝地にダイレクトに上陸できる。乗客室数は60室120名で、通常の客船よりかなり絞った人数となる。

従来のクルーズイメージとは違い、厳選した新しいタイプの寄港スタイル、従来の寄港地であっても切り取る角度を変えた提案を取り揃え日本から遠くへ旅することなく、日本の美しさを知ることができる至極の休日を提供していきたい。

東北地方は、豊かな自然と農林水産物に恵まれており、風雨と波の浸食によってできたリアス式海岸等、非常に美しい海岸線を有しており、そういった小さな津々浦々を小型船でめぐって探求していく。

本船の寄港形態は、岸壁に着岸するスタイル、沖に留まって小型舟艇で上陸するスタイル、沖で停泊して船尾でマリンスポーツをお楽しみいただくという三つのスタイル。

東北北海道エリアは、お米、お酒等の食材のクオリティが高く、寄港するときに限らず、いいものがあれば年間を通して仕入れ、お客様に提供す



ることも考えている。寄港地で手に入る新鮮な食材を、地元の方々が日常的に味わっている上質でシンプルな形で調理し、最も美味しい状態でお客様に提供し、その感動をお持ち帰りいただきたいと考えている。

演題：『クルーズ寄港地ビジネスの現在と未来』

～クルーズ商品企画者の視点から～

～東北エリア訪日 IB における JTB の体制～

講師：株式会社 JTB ロイヤルロード事業部 クルーズ部 営業戦略担当課長
クルーズマスター 中島 秀二 氏

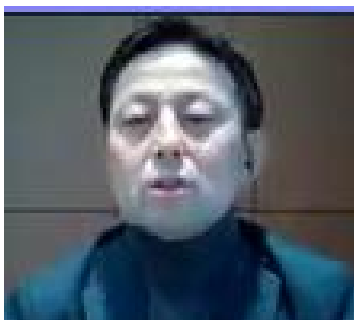
株式会社 JTB 仙台支店 副支店長 猪腰 亮 氏

要旨： 今後、日本国内でも新たなクルーズ船が配船される計画となっておりクルーズ利用客数の増加が見込まれ、過度な観光集中を招かないよう対策しつつ、お客様にご満足をいただきリピートしてもらうことが重要である。そのためには各寄港地の地元の方にクルーズ船寄港への理解を深めてもらうことが重要である。

クルーズ船の寄港地検討では、地元 JTB 支店と地元自治体の皆様方と連携を取り、地元でしか手に入れない情報などを商品に盛り込んでいくということ、企画の段階から検討することを始めている。

寄港地の様々な PR がクルーズ船内でも可能であるということ、地元の方にも知っていただき、また、船内で PR を実施することによって、お客様の満足度も上がる。こういった取組を企画段階からクルーズ商品の中に取り入れることによって、寄港地同士の連携、発着の融合、お互いのクルーズ事業への理解が促進されると考えている。

東北エリアは、JTB 仙台支店が中心となり、東北六県のインバウンド事業、クルーズエクスカージョンを推進しており、また、自治体からのクルーズ誘致に向けた受託事業も行っている。



中島氏



猪腰氏



カンファレンスの様子